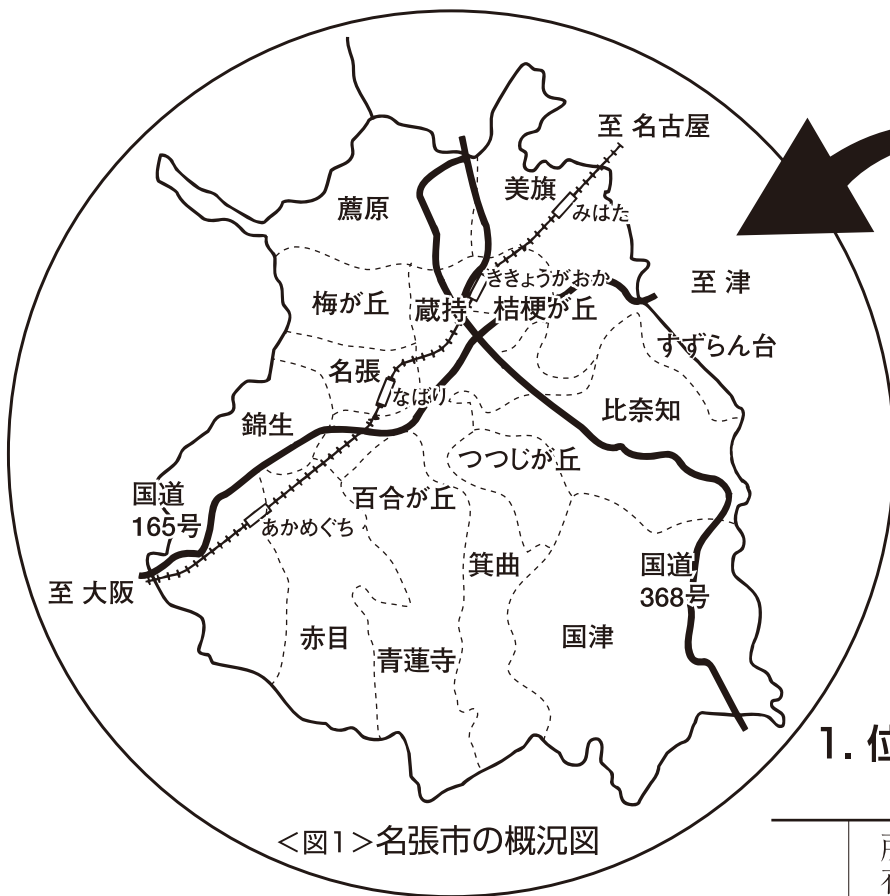


1. 土地及び気象



<図1>名張市の概況図

1. 位置及び面積

平成26年1月1日現在

市役所の位置	所在地	名張市鴻之台 1番町1番地
	北緯	34° 37' 27"
	東経	136° 06' 40"
広ぼう(m)	東西	10,550
	南北	13,100
海拔(m)		225.93
面積(km ²)		129.77

資料:総務室
*面積は国土地理院
[平成27年全国都道府県
市区町村別面積調]による。

名張までの道のり

電車の場合

- 名古屋 近鉄特急1時間26分 名張
- 大阪 (難波) 近鉄特急58分 名張

車の場合

- 名古屋西I.C 東名阪~名阪 上野I.C R368 名張
85.7km 70分 16km 20分
- 大阪梅田I.C 阪神高速 松原JCT 西名阪~名阪 針I.C
22km 30分 46km 45分
- R369~県道 室生 R165 名張
11km 15分 14km 20分

1. 土地及び気象

2. 地形

名張は古琵琶湖の南端部分が及んでいたところと推定され、湖岸の後退によって伊賀盆地となり、名張川周辺に平坦な陸地を作り出したものとされています。

東部から北部にかけては標高300～400mの丘陵地で伊賀市に、西部は名張川沿いに断層崖が存在し奈良県と、南部は山岳地帯で紀伊山地に属し、奈良県と接しています。

伊賀盆地は南東から北東に向けて傾斜しているため、青蓮寺川・宇陀川と合流した名張川は、北方向に向かい、木津川・淀川を経て、大阪湾へ注いでいます。

市域の標高は、市役所(鴻之台1番町)で225.93m、海拔の最低は、薦生地内の名張川河川敷で162m、最高は国見山山頂付近の883mです。

3. 地質

日本列島の地質は、日本海側の内帯と太平洋側の外帯に構造線によって分けられ、大断層帯を成しています。

名張市はこの構造線近く、内帯の南端に位置しています。基礎盤岩は領家片麻岩類により形成されており、この上に第3紀鮮新世成層(古琵琶湖層群伊賀累層)が堆積し、堆積層の下部は粘土、上部は砂層でおおわれています。

市域南部は基礎盤岩の上に室生火山群の活動による流紋岩質溶結凝灰石が分布しています。曾爾村境界の山々は、自身の噴火でできたものではなく、約1310万年前、三重・奈良県境にある高見山中腹の爆発により噴出した火山灰が堆積・凝固し、死火山となったのち、風雨や河川の侵食によって現在の山容になったものとされています。

4. 市地域の推移

平成29年1月1日現在

年月日	事項	年月日	事項
昭和17年5月5日	名張町・蔵持村・薦原村・箕曲村合併	昭和29年3月31日	滝川村・箕曲村・国津村合併市制施行
昭和24年8月1日	箕曲村分村	昭和32年7月1日	古山村の一部(南古山)編入
昭和26年4月1日	錦生村・比奈知村・美濃波多村合併	昭和32年8月1日	上野市の一部(上庄田)編入

資料:総務室

5. 地区別面積

平成29年1月1日現在(単位:km²)

地区名	面積	地区名	面積	地区名	面積
名張市計	129.77	美 旗	11.98	赤 目	9.40
名 張	2.90	比 奈 知	15.03	箕 曲	12.23
希 央 台	0.36	富 貴 ヶ 丘	0.83	青蓮寺・百合が丘	14.97
鴻 之 台	0.50	す ず ら ん 台	0.89	国 津	25.39
蔵 持	2.65	つ つ じ が 丘	1.68	桔 梗 が 丘	2.21
川西・梅が丘	3.99	春 日 丘	0.57	桔梗が丘南	0.24
薦 原	11.55	錦 生	11.71	桔梗が丘西	0.69

資料:情報政策室

6. 地目別民有地面積

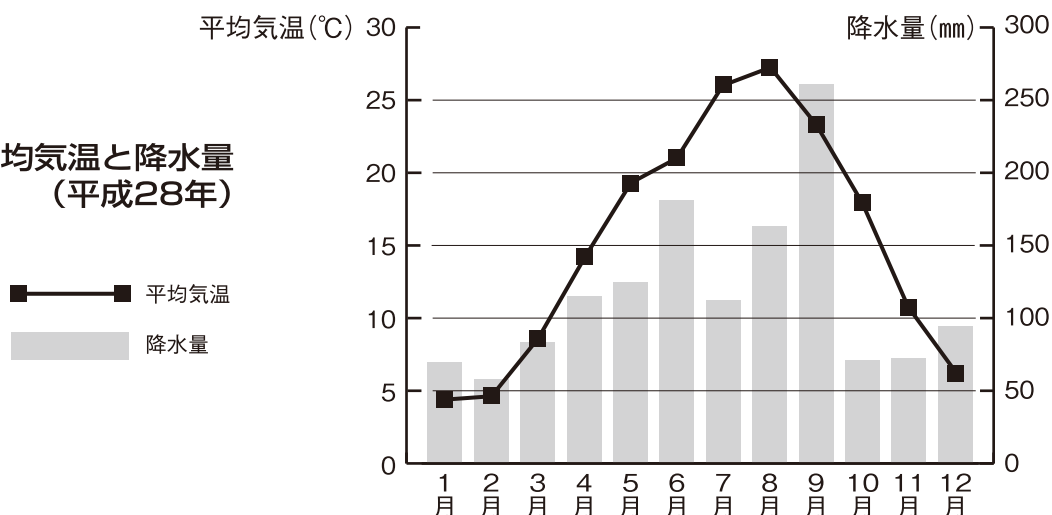
各年1月1日現在(単位:千m²)

年次	項目	総数	田	畑	宅地	池沼	山林	原野	雑種地
平成24年		72,441	12,385	4,623	13,295	1,088	36,679	1,054	3,317
25		72,451	12,330	4,600	13,331	1,088	36,631	1,053	3,418
26		72,438	12,236	4,584	13,350	1,837	35,910	1,050	3,471
27		72,405	12,184	4,572	13,357	1,836	35,889	1,042	3,525
28		72,435	12,141	4,542	13,389	1,945	35,736	1,040	3,642

資料:課税室(固定資産税担当)

1. 土地及び気象

<図2>月別平均気温と降水量
(平成28年)



7. 気象状況

年次	項目	平均気温 (°C)	最高気温 (°C)	最低気温 (°C)	平均湿度 (%)	平均風速 (m/s)	降水量 (mm)
平成19年		14.9	37.7	-5.0	63.2	2.0	1,203.5
20		15.6	37.4	-3.9	64.6	2.0	1,271.5
21		14.7	35.9	-4.0	64.2	2.0	1,392.5
22		15.0	36.1	-4.4	75.0	1.6	1,501.5
23		14.4	35.7	-4.3	—	1.4	1,803.5
24		14.2	36.6	-7.5	78.6	1.5	1,568.0
25		14.7	36.8	-3.5	78.2	1.5	1,604.5
26		14.3	36.6	-4.0	80.3	1.4	1,303.0
27		14.9	36.4	-3.2	83.4	1.3	1,437.0
28		15.4	35.4	-4.8	83.1	1.3	1,383.0
平成28年	1月	4.3	15.5	-4.8	80.9	1.7	66.0
	2月	4.8	17.9	-4.6	79.1	1.6	57.0
	3月	8.1	21.5	-2.3	76.5	1.3	81.5
	4月	14.4	28.2	0.8	79.7	1.5	113.0
	5月	19.2	31.2	7.9	76.2	1.4	124.5
	6月	21.5	31.7	9.8	85.2	1.3	181.5
	7月	26.2	34.9	20.3	84.3	1.1	107.0
	8月	27.2	35.4	16.5	81.0	1.2	161.0
	9月	23.5	31.9	16.8	90.6	1.0	260.5
	10月	17.8	30.9	6.0	87.9	1.0	68.5
	11月	10.8	20.7	1.5	87.9	1.1	69.0
	12月	6.5	16.5	-1.9	87.8	1.4	93.5

資料: 消防本部

※1. 平成23年平均湿度については、湿度計の故障により表示なし。